

令和7年度 事業報告書

社会福祉法人

静岡市しみず社会福祉事業団

目 次

I	事務局	1
II	静岡市清水みなとふれあいセンター〔身体障害者福祉センターB型〕	9
III	静岡市清水ひびきワーク〔生活介護事業所〕	12
IV	静岡市清水うみのこセンター〔母子療育訓練センター〕	16
V	静岡市清水うしおワーク〔多機能型事業所〕	
1	生活介護事業	19
2	就労継続支援B型事業	23
VI	静岡市清水うなばら学園〔生活介護事業所〕	27
VII	静岡市清水なぎさホーム〔生活介護事業所〕	31
VIII	障害者相談支援センターわだつみ〔相談支援事業〕	35

I 事務局

障害者総合支援法に基づく法定施設及び受託施設の円滑な運営を図るとともに、経理、出納、物品の取扱い等の各種事務、財産の維持保全、予算、決算事務を行った。

また、指定管理事業者として常に利用者の視点に立ち、長年培ってきた支援技術の提供と障害福祉サービスの充実を図るとともに、経営の健全化と安定化を図った。

1 評議員会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
定時	6 月 23 日	会議室	評議員 7 人 監事 2 人	○令和 6 年度事業報告及び各種会計決算認定 ○令和 7 年度各種会計収支補正予算（案）の承認 ○社会福祉充実計画の承認 ○役員の選任 ○報告事項
2	10 月 7 日	会議室	評議員 6 人 監事 2 人	○令和 7 年度各種会計収支補正予算（案）の承認
3	3 月 27 日	会議室	評議員 6 人 監事 2 人	○令和 7 年度各種会計第 3 次収支補正予算（案） ○第 2 期経営計画（令和 3 年から令和 7 年度）の追認 ○令和 8 年度経営計画（案） ○令和 8 年度事業計画（案） ○令和 8 年度各種会計収支予算（案）

2 理事会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
1	6 月 5 日	会議室	理事 6 人 監事 2 人	○令和 6 年度事業報告及び各種会計決算 ○令和 7 年度各種会計収支補正予算（案） ○評議員選任・解任委員会招集 ○定時評議員会の招集 ○社会福祉充実計画の承認 ○評議員候補者の選定 ○役員（理事・監事）の選定 ○報告事項
2	6 月 23 日	会議室	理事 6 人 監事 2 人	○理事長の選任 ○常務理事の選任 ○評議員選任・解任委員会の選任

3	9月22日	会議室	理事6人 監事2人	○職員給与規程の一部改正 ○令和7年度各種会計第2次収支補正予算（案） ○令和7年度第2回評議員会の招集
4	3月19日	会議室	理事5人 監事2人	○令和7年度各種会計第3次収支補正予算（案） ○第2期経営計画（令和3年から令和7年度）の追認 ○令和7年度第3回評議員会招集 ○令和8年度経営計画（案） ○令和8年度事業計画（案） ○ひびきワーク事業運営資金積立金取崩し ○令和8年度各種会計収支予算（案） ○各事業所運営規程の一部改正 ○役員賠償保険契約締結の件 ○報告事項

3 内部監査

区分	実施日	実施者	内 容
会計帳簿監査	5月23日	杉山明喜雄 公認会計士他3人	令和6年度決算に伴う経理監査
決算監査	6月3日	事業団監事2人	令和6年度決算書類及び付属関係書類、関係諸帳簿との照合、係数検査等
定期監査	12月11日	事業団監事2人	令和7年度前期分各種計算書類等の確認、業務状況報告

※いずれも、適正、かつ正確に行われているとの報告を受けた。

4 第三者委員への苦情・要望内容の報告会

令和7年5月29日、各施設に寄せられた苦情・要望内容について第三者委員2人に報告した。なお、個々の苦情解決並びに直接、第三者委員が受け付けた案件はなかった。

5 職員配置状況(令和7年度末)

適正な職員配置を行い、業務に万全を期した。(単位：人)

事業別	施設名	常勤	非常勤 (嘱託医等含む)	兼務	合計
本部	事務局	5	1	(3)	6
身体障害者福祉 センターB型	静岡市清水みなと ふれあいセンター	4	0	(1)	4
生活介護事業所	静岡市清水 ひびきワーク	4	3	2(2)	9
母子療育訓練 センター	静岡市清水 うみのこセンター	6	5		11
多機能型事業所	静岡市清水 うしおワーク	10	4	(5)	14
生活介護事業所	静岡市清水 うなばら学園	13	2	1(2)	16
生活介護事業所	静岡市清水 なぎさホーム	9	4		13
相談支援事業	障害者相談支援 センターわだつみ	7	0	(3)	7
合 計		58	19	3(16)	80

6 事務局職員の配置状況(単位：人)

	常勤	非常勤	兼務	計	備考
事務局長	1		(1)	1	わだつみ兼務
事務局次長	1		(1)	1	みなとふれあい センター兼務
事務員	3			2	
運転士 (地域貢献担当)		1	(1)	1	なぎさホーム兼務
計	5	1	(3)	6	

7 職員研修等

職員の資質の向上、専門的知識、技能の習得を図るため、関係機関が開催する実務研修や各種研修会に積極的に参加した他、事業団職員研修計画に基づいて内部研修、階層別研修等を実施した。

(1) 職員研修実施状況

ア 階層別研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
4月3日 4月4日	新規採用職員研修 Ⅰ	新規採用職員	8人	社会福祉施設従事者として仕事に取り組む基本姿勢等
4月10日	新任副主任研修	副主任	1人	副主任に求められる基本的役割を理解する
4月14日	准職員研修	准職員	1人	准職員に求められる基本的役割を理解する
5月12日	管理者研修	施設長	1人	管理者としてのリーダーシップの醸成を図る
6月5日 6月6日	新規採用職員研修 Ⅱ	新規採用職員	8人	社会福祉施設職員として専門的な技術を学ぶ
9月5日	新規採用職員研修 Ⅲ	新規採用職員	7人	社会福祉施設職員として専門的な技術を学ぶ
10月2日	新規採用職員 6か月フォロー	新規採用職員	3人	採用6か月経過後における振り返りと更なる意識向上を促す

イ 全体研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
5月22日	虐待防止研修	全職員	70人	虐待防止に向けた取り組みを学ぶ
5月29日	SNS研修Ⅰ	副主任以上	25人	SNSの活用方法を知り、効率的、効果的な広報力を高める
7月18日	アンコンシャス バイアス研修	主任以上	12人	心理的安全性の高い職場づくりを目指す
6月2日	SNS研修Ⅱ	副主任以上	25人	SNSの活用方法を知り、効率的、効果的な広報力を高める
10月7日	カスタマーハラス メント研修	管理者	9人	カスタマーハラスメント対応時の基礎について学ぶ
10月8日	指定管理者情報セ キュリティ研修	全職員	60人	情報セキュリティ意識、レベルの向上を図る
11月14日	防災研修Ⅰ	全職員	35人	大規模災害に備え、必要な知識を学ぶ
12月4日	AED講習会	全職員 (3年で全職員)	23人	AEDの使用方法を学ぶ
1月16日	事例研究発表会	全職員	35人	うしおワークにおける実践事例報告

ウ 専門研修（外部研修）

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
4月1日	評価基準研修Ⅰ	管理者	8人	新たな人事評価制度について学ぶ
4月25日	監事監査研修	監事・局長	2人	法人の監査に求められる役割
5月7日	障害者を取り巻く現状について	事務局次長	1人	障害者雇用の現状と、合理的配慮について
5月27日	安全運転管理者総会・表彰式	施設長他（安管）	2人	安全運転管理者総会
5月29日	不当要求防止責任者講習会	管理者	1人	暴力団等反社会勢力からの不当要求対応要領について
6月16日～	相談支援従事者初任者研修	相談支援員	1人	相談支援従事者として必要な知識・技能を学ぶ
6月13日～	事務職員簿記入門講座	事務局主事	1人	複式簿記の基本的な仕組みの理解を学ぶ
6月26日	心の発達についての講演会	事務局主事	2人	発達の視点から見える子どもの姿について
7月11日	事務職員経理基礎講座	事務局主事	1人	社会福祉法人会計の基礎的知識の習得
7月15日	セーフティドライブズコンテスト	生活支援員	2人	
7月19日	東海北陸ブロック会議	理事長 事務局次長	2人	東海北陸ブロック幹部職員研修
7月24日	安全運転管理者研修	施設長（安管）	1人	安全運転管理者法定講習会
7月31日	雇用管理セミナー	事務局次長	1人	高年齢者雇用の現状と施策について等
8月5日	評価基準研修Ⅱ	管理者	9人	実際に人事評価効果を行ってみる
8月15日～	事務職員経理応用講座	事務局主事	1人	応用的な会計処理について
8月21日	安全運転管理者研修	事務局次長（副安管）	1人	安全運転管理者法定講習会
9月2日	評価基準研修Ⅲ	管理者	8人	新たな人事評価制度について学ぶ
9月19日～	事務職員予算管理講座	事務局主事	1人	当初予算、補正予算の編成に係る留意事項
9月19日	電気安全講習会	事務局次長	1人	電気の安全な取り扱いについて学ぶ
10月17日～	事務職員会計実務専門講座	事務局主事	1人	固定資産の実務上の取扱いについて
2月5日 2月6日	東海北陸ブロック会議	事務局長 事務局次長	2人	東海北陸ブロック幹部職員研修

2月13日 ～	事務職員決算実務 講座	事務局主事	2人	決算整理事項や計算書類の作成に必要な実践的知識を学ぶ
3月10日	人材確保セミナー	事務局長 事務局次長	2人	効果的な人材確保および採用に活かすための視点について

エ その他研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
隔月実施	防災研修Ⅱ (発電機の取扱)	主任者等	30人	実際に発電機を扱う 防災備品の確認

オ 視察研修

実施なし

カ OJT制度及びメンター制度の実施

制度名	内容等	対象人数
OJT	OJTマニュアルに沿って所属事業所でOJTリーダーを選任し対象者に指導を行った。	15人
メンター	新規採用職員を対象にメンティ(被育成者)をマッチングし、業務だけにとどまらず、スキル形成、人間関係の構築等、併せて法人の中長期的な成長を見込み、メンターの組織人としての成長支援を実施するものであるが今年度は、対象がいなかった。	5人

(2) 職員の主な国家資格取得状況 (※重複取得者あり)

資格名	人数	資格名	人数
社会福祉士	8人	保健師・看護師	5人
精神保健福祉士	2人	公認心理師	1人
介護福祉士	20人	保育士	7人

8 体験実習等の受入れ

事業団内福祉施設の体験学習や実習、施設見学等、積極的に受け入れた。

受入団体名	人数
職員及び嘱託職員採用試験受験者	7人
静岡市副市長、総務局長他	13人
障害福祉企画課職員	1
合 計	21人

9 情報公開等

事業団各施設の概要、事業内容、収支決算等を事業団だより「つばさ」（年1回[8月]・2,500部）を発行した他、ホームページを随時更新し、最新情報を公開した。

10 防災関係

(1) 総合防災訓練

事業団全施設を対象に地震による火災発生を想定した初期消火訓練、避難誘導訓練、津波避難訓練、通報訓練を2回実施したほか、建物の倒壊等により道路が遮断され帰宅困難を想定した宿泊型防災訓練を1回実施した。

(2) 防災備蓄品

緊急時に備え、食料・保存水（200人分・7日程度）の他、発電機（4台）、寝袋（200個）、簡易トイレ、ハロゲンライト（4基）等の必要な防災備品を備蓄するため、発電機等の定期的な点検、食料の期限確認等を行った。

(3) その他

7月30日にカムチャッカ半島付近で発生した地震に伴う津波警報の発令により、帰宅困難となった利用者への緊急対応として事業所内に一泊した。

施設名	帰宅困難利用者	対応職員
うしおワーク	4名	1名
なぎさホーム	1名	1名

11 地域における公益的な取組み

内 容	日、回数
駒越地区社会福祉協議会買い物支援事業運転士派遣	50日
地域の3公園の清掃活動	34回
子どもの居場所「わいわい広場」	20回
地域歩行者用道路及びガードレール清掃等	16回
地域のカーブミラー清掃	3回
近隣宅地横市有地の清掃	1回
静岡市立清水病院敷地環境整備	1回

12 ボランティアの受入れ

内 容	人数
わいわい広場	18人
環境整備後の草等の処分	17人
合 計	23人

13 その他

- (1) 職員体制の強化を図るため正規職員の採用試験を実施し、6名の職員の採用を決定した。
- (2) 新人事評価制度実施に向け、社会保険労務士による管理者対象の研修及び、一部職員を対象に人事評価の試行を実施した。
- (3) 令和9年度からの管理運営体制の変更について利用者、地域住民を対象に静岡市障害福祉企画課による説明会が事業団の多目的ホールを会場に全3回実施された。
- (4) 社会福祉充実計画に基づき、下記の事業を行った。

事業名	事業概要	事業費（実績）
利用者サービスの充実	個別送迎に係る燃料費等の必要経費の支出（2台分）	1,069,350 円
職員研修	職員の資質向上を図るための外部研修の実施 研修名「アンコンシャスバイアス研修」（心理的安全性の高いチームマネジメント）対象；管理者	128,590 円
職員処遇改善	職員一時金の支給	9,500,000 円
ICT 導入による業務の効率化	業務負担軽減を図るため勤怠管理システムを導入	1,694,000 円
公認会計士意見聴取	社会福祉充実計画策定にあたり、公認会計士からの意見聴取に係る費用支出	165,000 円
支援体制の強化	支援体制強化のため加配職員を雇用 ※募集を行なったが応募がなく採用につながらなかった。	0 円
合 計		12,556,940 円

Ⅱ 静岡市清水みなとふれあいセンター（身体障害者福祉センターB型）

在宅障害者を対象に機能訓練や創作的活動を行った他、障害者団体が実施する事業の運営協力、広報紙等の啓発活動、地域福祉活動、静岡市委託事業の開催、施設提供等各種事業を実施した。

令和3年度より由比・蒲原地区において障害者スポーツ教室を開催してきたが、令和7年度より駿河区の障害者福祉事業所を中心に障害者スポーツ教室を開催し、啓発活動を広げた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
施設長	1		(1)	1	事務局次長兼務
指導員	3			3	
計	4	0	(1)	4	

※上記職員のほか、事務局看護師が利用者の健康上の相談、体調不良時等に随時対応した。

2 事業の実施状況

(1) 教室の開催

ア 機能訓練

書道・ペン習字・陶芸等9教室実施

イ 体力増進

卓球・ボッチャ・水中運動・グラウンドゴルフ・エンジョイスポーツ等の14教室実施

月	機能訓練		体力増進	
	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数
4	6	46	16	157
5	6	44	14	134
6	7	46	16	149
7	6	34	16	128
8	7	47	14	113
9	6	45	14	126
10	7	46	14	119
11	6	37	13	103
12	7	43	15	123
1	5	31	14	113
2	6	42	12	104
3	6	36	17	165
計	75	497	175	1,534

※7/30 午後は、津波警報が発令されたため、利用者の安全を考慮し事業を中止した。

(2) 障害者福祉団体等への事業運営協力

- ア 障害者スポーツフェスティバルの運営協力（５月）
- イ オレンジ杯ふれあいグランドゴルフ大会協力（９月）
- ウ 福祉のまつり参加（１１月）
- エ グラウンドゴルフ大会の運営協力（１０月、３月）
- オ 清水区福祉総合文化祭参加（１１月）

(3) 啓発活動

- ア みなとだより（広報紙）の発行（定期発行１２回）
- イ 事業団広報誌「つばさ」の発行（１回）

(4) 地域福祉活動

- ア 駒越地区社会福祉協議会企画委員会総会への出席（３回）
- イ 小学生福祉学級の運営（７月）
- ウ 駒越地区社会福祉協議会レクリエーション大会の運営協力（８月、２月）
- エ 駒越地区敬老の集い運営協力（１１月）
- オ Ｓ型デイサービス事業協力（３回）
- カ 駒越地区社協研修会（健康づくり体験会（ピラティス）１回・ボランティア研修会１回）

(5) 静岡市委託事業

ア 手話奉仕員養成講座

区 分		開催月	実施回数	会 場	参加人数	参加延人数
清水区	昼の部	４月～３月	４６回	はーとぴあ清水	３０人	８３４人
葵区・駿河区	夜の部	４月～３月	４６回	中央福祉センター	３０人	１,０３７人
合 計			９２回		６０人	１,８７１人

イ 静岡市障がい者スポーツ教室

開催月	実施回数	会 場	参加延人数
６月～２月	１５回	静岡大学附属特別支援学校 他	４４５人

(6) 会議室、運動広場等の施設利用(外部)

区 分	件数
会議室	7 件
運動広場	40 件
多目的ホール	5 件
計	52 件

(7) 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	4 人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	1 人
一般の見学、実習等	2 人
合 計	7 人

(8) ボランティアの受入れ

内 容	人数
事業（各種教室・行事）運営補助	288 人

Ⅲ 静岡市清水ひびきワーク（生活介護事業所：定員 20 名）

利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動及び生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

今年度は、生産活動の受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

送迎では、バス停までの移動が困難な利用者が増えていることから、法人内 3 施設（うしおワーク、うなばら学園、なぎさホーム）と共同で自宅付近までの小型車送迎を行い対応した。

余暇活動では、利用者ニーズの高い創作活動の実施にあたり、外部講師（静岡市美術家協会事務局長、常葉大学学生）に協力を得ながら絵画教室や造形教室を行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延 237 人を受入れた。

年間を通して概ね計画どおり進めることができた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	サビ管兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	施設長兼務
生活支援員	2	2	1	5	
看護師			1	1	うしおワーク看護師 兼務
医 師		1		1	嘱託医
計	4	3	2(2)	9	

2 利用者の状況（令和 7 年度末利用契約人員：13 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	0	0	3	3	1	7	54.9 歳	68 歳	48 歳
女	0	0	3	0	3	6	55.7 歳	72 歳	43 歳
計	0	0	6	3	4	13	55.2 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	1	1	1	1	3	7	19.1 年
女	1	0	1	0	4	6	23.5 年
計	2	1	2	1	7	13	21.2 年

(3) 身体障害者手帳所持者（単位：人）

等級 性別	1	2	3	4	5	6	計
男	3	3	1	0	0	0	7
女	3	2	1	0	0	0	6
計	6	5	2	0	0	0	13

(4) 障害支援区分(受給者証)（単位：人）

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	2	2	2	1	7	
女	0	0	2	0	3	1	6	
計	0	0	4	2	5	2	13	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
1 人	1 人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22 ^日	12 ^人	179 ^人
5	23	12	172
6	22	13	185
7	22	13	177
8	23	13	159
9	22	13	176
10	23	13	172
11	21	13	148
12	23	13	176
1	22	13	177
2	20	13	159
3	23	13	179
計	266	—	2,059

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
外岡作業所	箱折（菓子の箱折り・糊付け、ひも通し）
蒔田紙器(株)	ダンボール型抜き、組み（薬品梱包用）
望月工業(株)	バスケットゴムはめ

(2) 収入状況

年度別	令和7年度	令和6年度	増減
収入金額	714,877 円	836,572 円	△121,695 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
23,280 円	110 円	4,498 円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数	延人数
絵画教室（外部講師指導）	5 月、7 月、10 月、2 月	4 回	31 人
みなとレクリエーションスポーツ教室 （なぎさホームと合同）	5 月、10 月、2 月	3 回	18 人
みなと陶芸教室（なぎさホームと合同）	6 月、8 月	6 回	8 人
選択活動（ボウリング、カラオケ、映画、 掛川花鳥園等）	6 月、7 月、8 月、9 月、 11 月、1 月、2 月、3 月	18 回	62 人
外出活動（うなぎパイファクトリー、静岡 市港北消防署見学）	10 月、12 月	2 回	14 人
法人内 4 事業所合同秋祭り	10 月	1 回	6 人
宿泊型防災訓練	11 月	1 回	1 人
法人内 4 事業所合同運動会	2 月	1 回	4 人
造形教室（常葉大学学生講師指導）	3 月	2 回	16 人

※ その他、避難訓練（毎月 1 回）、健康診断（11 月）、インフルエンザ予防接種（希望者）、結核検診を行った。

5 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	11 人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	6 人
一般の見学、実習等	12 人
合 計	29 人

6 ボランティアの受入れ

内 訳	延人数
行事・土曜活動	115 人
サマーショート	10 人
保護者（施設内清掃）	3 人
合 計	128 人

7 利用者、保護者との連絡調整

利用者及び保護者との個別面談や三者による面談会を行い、利用者へのサービスの向上に努めた。

IV 静岡市清水うみのこセンター(母子療育訓練センター)

発達が気になる乳幼児の早期発見、早期療育を目的に、療育相談や指導、生活自立への支援等を行うとともに、一人ひとりの状況に応じた発達支援、子育て支援に努めたほか、ビデオを用いたペアレントトレーニングの定期的な開催、心理職スタッフによる発達相談などを行った。

また、保健センター主催の遊びの教室他、発達早期支援の場である「あそびの教室プラス」に定期的に職員を派遣し、スムーズに療育につなげるよう努めた。

令和7年度は保護者支援の充実に重点を置き、保護者勉強会として内容や実施方法の見直しを行った。それにより参加者が大幅に増加するなど、保護者のニーズに応えることができた。都合で参加できなかった方にも資料の配布やホームページで内容の報告をするなど、情報提供にも努めた。また、ペアレントトレーニングの教材を増やして内容を充実させたり、ビデオ視聴後には意見交換の場を設け、保護者同士が情報共有できるようにした。

1 職員の配置状況(単位：人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
施設長	1			1	
指導員	5			5	
公認心理師		1		1	
医師		1		1	嘱託医
臨床発達心理士		3		3	
計	6	5	0	11	

2 利用状況調べ(単位：人)

月別	訓練	交流保育	特別指導	訪問指導	相談業務	合 計
4	181	0	4	2	305	492
5	162	0	6	46	171	385
6	192	0	4	88	194	478
7	167	0	4	29	224	424
8	163	0	6	11	243	423
9	185	0	5	20	224	434
10	248	0	4	7	181	440
11	201	0	5	7	184	397
12	176	0	5	6	162	349
1	174	0	3	1	261	439
2	161	0	6	6	192	365
3	191	0	4	9	229	433
計	2,201	0	56	232	2,570	5,059

※7/30 午後、7/31 午前は津波警報が発令されたため、利用者の安全を考慮し事業を中止した。

[年度別登録者数等調]

年度別	登録者数	延利用者数
令和6年度	200人	4,682人
令和7年度	199人	5,059人

3 主要行事

行事名	実施月	回数	延参加者
特別支援学級見学	6月・7月	17回	30人
保護者勉強会	4月～1月	14回	226人
みんなでほっとする会(親同士の懇談会)	随時	5回	16人
秋フェス(親の会共催)	10月	1回	198人

《その他》

- (1) 臨床発達心理士による療育相談会を年26回実施した。
- (2) 蒲原保健センター主催のフォローアップの会に参加(年間12回)し、課題のあるケースへのアプローチや当センターの療育につなげていくため、積極的な働きかけを行った。
- (3) コミュニケーション発達を促すビデオを上映するペアレントトレーニングを8回実施した。

4 他機関との連携

他機関、関係団体等に対して、必要に応じて職員を派遣し、連携を図った。

内 容	回数
蒲原保健センター職員派遣	12回
こども園・保育園・幼稚園・児童発達支援事業所訪問	58回
静岡市幼児言語教室との連絡会	1回
清水区こども園等との連絡会	随時
就学支援における教育委員会との連携	随時

5 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
学生(中学、高校、大学、専門学校)の見学、実習	39人
一般の見学、実習等	18人
合 計	57人

6 ボランティアの受入れ

内 容	人数
学生	14 人
一般・地域	16 人
合 計	30 人

V 静岡市清水うしおワーク（多機能型事業所・定員：50 名）

定員 30 名の生活介護事業と定員 20 名の就労継続支援 B 型事業の多機能型事業所として事業を行った。今年度は、小型車による送迎業務増による受け入れ対応職員不足への対策として、非常勤の運転士 1 名を採用し態勢を整えた。生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めたほか、新たな事業者から作業を受注し、作業の種類を増やし能力の開発・向上に努めた。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延 1,296 人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

I 生活介護事業・定員 30 名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、創作的活動や生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

さらに、同施設内就労支援事業所の利用者 1 名について、現状を考慮し、本人に合った支援ができるよう利用者・保護者と話し合いを重ね、生活介護事業への移行を視野に実習を行った。

また、希望する利用者には、バスや小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行った。

1 職員の配置状況(単位:人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	就労継続支援 B 型と兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	就労継続支援 B 型と兼務
生活支援員	5		(1)	5	就労継続支援 B 型と兼務
運転士兼 生活支援員	1		(1)	1	就労継続支援 B 型と兼務
看護師		1	(1)	1	うなばら学園、ひびきワーク 兼務
運転士		1	(1)	1	就労継続支援 B 型と兼務
医 師		1		1	嘱託医
計	8	3	(6)	11	

2 利用者の状況(令和 7 年度末利用契約人員：25 人)

(1) 年齢別(単位:人)

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均 年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	3	6	9	0	19	46.9 歳	58 歳	23 歳
女	1	0	2	3	0	6	48.0 歳	58 歳	24 歳
計	2	3	8	12	0	25	47.2 歳		

(2) 在所期間 (単位:人)

年数 性別	5年未満	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計	平均在所 年数
男	2	2	1	2	12	19	24.1年
女	0	1	0	0	5	6	29.2年
計	2	3	1	2	17	25	25.3年

(3) 療育手帳所持者 (単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	16	3	19
女	5	1	6
計	21	4	25

(4) 障害支援区分 (受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	2	10	7	0	19	
女	0	0	1	1	3	1	6	
計	0	0	3	11	10	1	25	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	日 22	人 25	人 461
5	23	25	472
6	22	25	461
7	22	25	450
8	23	25	361
9	22	25	407
10	23	25	456
11	22	25	386
12	23	25	427

1	22	25	407
2	20	25	363
3	23	25	456
計	267	—	5,107

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み
(株)望月工業	ガasketゴムはめ
自主製品	園芸等
ぐっとくる	シール貼り、袋詰め等

(2) 収入状況

年度別	令和7年度	令和6年度	増減
収入金額	1,099,991 円	1,192,900 円	△92,909 円

(3) 工賃支給状況(月額)

最 高	最 低	平 均
5,800 円	100 円	1,777 円

4 主要行事等（レクリエーション活動）

行事名	実施月	回数	延人数
映画鑑賞	5月、8月、1月	3回	25人
音楽コンサート	5月、6月、7月、8月 9月、11月、12月、1月	8回	79人
体力測定会	3月	1回	13人
運動会	9月	1回	8人
法人内4事業所合同運動会	2月	1回	14人

その他スポーツ (軽スポーツ、球技大会)	5 月、12 月	2 回	26 人
宿泊型防災訓練	11 月	1 回	6 人
季節の行事	8 月、12 月、1 月、2 月	4 回	44 人
法人内 4 事業所合同秋祭り	10 月	1 回	13 人
その他、レク活動	4 月、11 月、3 月	3 回	41 人

《その他》

- (1) 避難訓練を毎月 1 回実施した。
- (2) 運動支援事業（歩行・ティーボール・ランニング）等、共通する事業は就労継続支援 B 型事業の利用者と一緒に行った。
- (3) 体重測定、血圧測定を毎月 1 回実施した。
- (4) 健康診断（10 月）、歯科検診（10 月）の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種（希望者）、結核検診を実施した。

5 見学、実習等の受入れ（就労継続支援 B 型事業と共通）

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	0 人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	55 人
一般の見学、実習等	43 人
合 計	98 人

6 ボランティアの受入れ（就労継続支援 B 型事業と共通）

内 容	人数
保護者清掃	47 人
土曜活動（コンサート）	87 人
合 計	134 人

7 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおかわら版」を毎月発行するとともに、利用者及び保護者に対しては、連絡ノートや電話を利用して情報共有を行った。

また、個別支援計画等に沿った支援を適切に行うために、個別面談等を実施し、家庭との連携を図った。

Ⅱ 就労継続支援B型事業・定員 20 名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。今年度は、作業支援の充実を図るため非常勤職員 1 名を採用した。

また、希望する利用者にはバスや小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行うほか、公共交通機関を使って通所する利用者に対しては、交通ルールや利用マナーを順守するよう支援した。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
生活支援員	1	2	(1)	3	生活介護事業所と兼務
職業指導員	1			1	
運転士兼 生活支援員	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
目標工賃達成 指導員	1			1	
運転士		1	(1)	1	生活介護事業所と兼務
計	6	3	(5)	9	

2 利用者の状況（令和 7 年度末利用契約人員：20 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均 年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	0	5	8	4	18	52.9 歳	76 歳	23 歳
女	0	0	1	0	1	2	59.0 歳	74 歳	44 歳
計	1	0	6	8	5	20	53.6 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5 ～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	3	3	2	3	7	18	18.1 年
女	0	0	1	0	1	2	27.0 年
計	3	3	3	3	8	20	19.0 年

(3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	8	10	18
女	0	2	2
計	8	12	20

(4) 障害支援区分(受給者証)(単位:人)

区分 性別	無	1	2	3	4	5	6	計
男	7	0	0	4	6	1	0	18
女	1	0	0	0	1	0	0	2
計	8	0	0	4	7	1	0	20

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22 ^日	20 ^人	422 ^人
5	23	20	420
6	22	20	410
7	22	20	405
8	23	20	333
9	22	20	389
10	23	20	439
11	22	20	385
12	23	20	412
1	22	20	388
2	20	20	383
3	23	20	408
計	267	—	4,794

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
(株)ニッケー工業	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み
(株)望月工業	ガスケットゴムはめ
静岡市上下水道局	使用済み水道メーター分解業務
ボカシ作業（自主事業）	ボカシ製造、袋詰め
ぐっとくる	シール貼り、袋詰め等

(2) 収入状況

年度別	令和7年度	令和6年度	増減
収入金額	5,878,231 円	5,092,614 円	785,617 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
59,300 円	400 円	20,211 円

4 就職の状況

就職者はなかった。

5 主要行事等（レクリエーション活動）

行事名	実施月	回数	延人数
映画鑑賞	5 月、8 月、1 月	3 回	22 人
音楽コンサート	5 月、6 月、7 月、8 月 9 月、11 月、12 月、1 月	8 回	71 人
体力測定会	3 月	1 回	7 人
運動会	9 月	1 回	10 人
法人内 4 事業所合同交流運動会	2 月	1 回	11 人
その他スポーツ （軽スポーツ、球技大会）	5 月、12 月	2 回	17 人
宿泊型防災訓練	11 月	1 回	5 人

季節の行事	8月、12月、1月、2月	4回	44人
法人内4事業所合同秋祭り	10月	1回	16人
その他、レク活動	4月、11月、3月	3回	36人

《その他》

- (1) 避難訓練を毎月1回実施した。
- (2) 運動支援事業（歩行・ティーボール・ランニング）等、共通する事業は生活介護事業の利用者と一緒にいった。
- (3) 体重測定、血圧測定を毎月1回実施した。
- (4) 健康診断（10月）歯科検診（10月）の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種（希望者）、結核検診を実施した。

6 見学、実習等の受入れ（生活介護事業と共通）

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	0人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	55人
一般の見学、実習等	43人
合 計	98人

7 ボランティアの受入れ（生活介護事業と共通）

内 容	人数
保護者清掃	47人
土曜活動（コンサート）	87人
合 計	134人

8 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおかわら版」を毎月発行するとともに、利用者及び保護者に対しては、連絡ノートや電話を利用して情報共有を行った。

また、個別支援計画等に沿った支援を適切に行うために、個別面談等を実施し、家庭との連携を図った。

VI 静岡市清水うなばら学園（生活介護事業所：定員 60 名）

利用者が望む生活を実現するため、それぞれの障害特性に配慮し、充実した生活が送れるよう、生活、学習、作業支援等を実施した。生産活動については、木工品、手芸品、牛乳パックを使用した油取り紙（油取とり～な）、地域の飲食店から卵の殻の提供協力を受け、卵の殻肥料を製造・販売する等、自主製品を中心に作業量、作業工賃の確保に努めた。そのほか、地域との連携及び利用者の社会参加を目的として、外食活動や農業体験活動に取り組んだ。

送迎サービスにおいては、希望者をバス及び小型車で送迎し、ショートステイ中も日中活動の場に参加できるようグループホームへの送迎を行い、保護者、利用者の状況に応じた柔軟な対応に努めた。

今年度は、職員 1 名が静岡市より推薦を受け、強度行動障害者中核的人材研修を受講し、重度障害者（強度行動障害の状態を有する方）に対する標準的な支援（障害特性を踏まえた機能的アセスメントを行い、強度行動障害を引き起こしている環境を調整すること）の提供ができる事業所として体制を整えた。

なお、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延 488 人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼務	計	備考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	生活支援員兼務
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	8		(1)	8	管理者兼務
看護師兼 生活支援員					
運転士兼 生活支援員	3			3	
業務員		1		1	
看護師			1	1	うしおワークと兼務
医 師		1		1	嘱託医
計	13	2	1 (2)	16	

2 利用者の状況（令和 7 年度末利用契約人員：40 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均 年齢	最年長	最年少
男	4	13	7	6	0	30	38.7 歳	56 歳	19 歳
女	1	3	4	2	0	10	40.9 歳	51 歳	21 歳
計	5	16	11	8	0	40	39.2 歳		

(2) 在所期間(単位:人)

年数 性別	5年未満	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計	平均在所 年数
男	1	2	10	3	14	30	19.6年
女	1	0	1	1	7	10	23.3年
計	2	2	11	4	21	40	20.5年

(3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	28	2	30
女	10	0	10
計	38	2	40

(4) 障害支援区分(受給者証)(単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	2	8	20	30	
女	0	0	0	1	3	6	10	
計	0	0	0	3	11	26	40	5.6

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	1人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	41人	781人
5	23	41	776
6	22	41	755
7	22	41	760
8	23	41	755
9	22	41	734
10	23	41	798
11	21	41	679

12	23	41	723
1	22	40	663
2	20	40	579
3	23	40	719
計	266	—	8,722

3 生産活動

(1) 内容

内容	事業所名等	内 容
請負作業	安藤紙業㈱	C Dソフト等の分解・分別、油取り紙作成
	リサイクル	アルミ缶つぶし・卵の殻肥料作成
自主作業	手芸	刺し子・袋物等
	木工	花台・鍋敷き・木工玩具 プランター・アクセサリー等

(2) 収入状況

年度別	令和7年度	令和6年度	増減
収入金額	707,929 円	710,308 円	△2,379 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
2,400 円	50 円	1,273 円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数	延人数
個別活動 (動物園、静岡空港、七夕、BBQ、温泉、 ショッピング等)	6月～2月	16回	64人
班活動（農作業、外出活動、クッキング等）	随時	37回	350人
クラブ活動（スポーツ・音楽）	随時	71回	1,223人
春のバスハイク（焼津親水公園）	5月	1回	38人
法人内4事業所秋祭り	10月	1回	30人

宿泊型防災訓練	10月～11月	1回	21人
法人内4事業所秋祭り	2月	1回	23人
節分の集い	2月	1回	24人
クリスマス会	12月	1回	34人

《その他》

- (1) 避難訓練・体重測定を毎月1回実施した。
- (2) 健康診断1回、血液検査（希望者）、インフルエンザ予防接種（希望者）、結核検診、歯科検診をそれぞれ年1回行った。

5 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	25人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	66人
一般の見学、実習等	2人
合 計	93人

6 ボランティアの受入れ

内 容	人数
保護者清掃	23人
一般（作業補助）	23人
合 計	46人

7 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載し、日々の活動の様子が伝わるよう写真を掲載した「うなばら学園だより」を毎月発行した。

各利用者に対しては、連絡ノートや電話を利用し情報共有を行った。

また、個別支援計画等作成に当たっては、個別面談を実施し、家庭との連携を図った。

Ⅶ 静岡市清水なぎさホーム（生活介護事業所：定員 20 名）

在宅の重度障害者を対象に、日常生活訓練を主体とした支援を行い、身辺自立機能の維持や社会参加及び家庭介護の軽減を図った。

外出活動（買い物等）や他事業所との運動会等、活動の場を広げながら地域との交流機会を作った。

今年度は、グループホームに入所した利用者に対してグループホームまでの送迎を行った。また、環境の変化により体調面や生活面等を把握するためグループホーム、事業所間と連携を取り、利用者が安定した生活が送れるよう努めた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1			1	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	4	1		5	
看護師兼 生活支援員	3			3	
運転士		2		2	
医 師		1		1	嘱託医
計	9	4		13	

2 利用者の状況（令和 7 年度末利用契約人員：13 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	0	2	1	4	43.8 歳	52 歳	28 歳
女	4	3	1	1	9	33.2 歳	57 歳	22 歳
計	5	3	3	2	13	36.5 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～9 年	10～14 年	15～19 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	0	1	1	0	2	4	19.6 年
女	0	3	4	2	0	9	11.3 年
計	0	4	5	2	2	13	13.9 年

(3) 身体障害者手帳所持状況 (単位:人)

級 性別	1 級	2 級	無	計
男	2	1	1	4
女	8	0	1	9
計	10	1	2	13

※利用者全員療育手帳(A)を所持。

(4) 障害支援区分 (受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	0	0	4	4	
女	0	0	0	0	0	9	9	
計	0	0	0	0	0	13	13	6.0

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22 ^日	13 ^人	196 ^人
5	23	13	204
6	22	13	183
7	22	13	196
8	23	13	185
9	22	13	185
10	23	13	205
11	21	13	182
12	23	13	199
1	22	13	180
2	20	13	164
3	23	13	196
計	266	—	2,275

3 主な活動内容

日常の日課として、個別の課題活動、レクリエーションゲーム、足浴、外気浴等を行った。
また水曜日（月1～2回）は、多目的ホールを使用して、運動的活動を行った。

4 主要行事等

行事名	実施月	回数	延人数
外出活動(船越堤公園、みほしるべ、御穂神社、地球環境史ミュージアム、ベイドリーム清水店)	5月、7月、1月、2月、3月	5回	60人
誕生会	随時	8回	70人
クッキング	9月、2月	2回	17人
壁面制作	5月、9月、1月	3回	39人
季節行事(夏祭り、クリスマス会、もちつき大会、節分、ひなまつり)	8月、12月、1月、2月、3月	5回	46人
音楽療法	毎月	12回	100人
スポーツレクリエーション教室	5月、7月、8月、10月、2月、3月	6回	48人
陶芸教室	6月、8月	2回	22人
法人内4事業所合同運動会	2月	1回	9人
他事業所(そら、ここ、わたぐも、さにい事業所)との交流運動会	11月	1回	11人
法人内4事業所合同秋祭り	10月	1回	11人
選択活動(焼津ディスカバリーパーク、清水港客船見学)	10月	1回	13人
宿泊型防災訓練	11月	1回	7人
リハビリ指導(OT、ST、PT)	6月、8月、1月、2月	4回	4人

※その他、避難訓練（毎月1回）、体調チェック（毎日）、体重測定（毎月1回）、健康診断、血液検査（希望者）、インフルエンザ予防接種（希望者）、結核検診を行った。

5 ライフサポート事業（重症心身障害児者ライフサポート事業：日帰りショートステイ）

実施回数	延べ人数
9回	45人

6 送迎サービス

送迎を希望する利用者（13 人）に対して、毎日、個別送迎を実施した。

7 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
施設利用のための見学、実習	23 人
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	12 人
一般の見学、実習等	12 人
合 計	47 人

8 ボランティアの受入れ

内 容	人数
サマーショート	12 人
大学生	0 人
土曜活動（コンサート等）	77 人
合 計	89 人

9 家庭との連携について

施設の様子や行事予定を掲載した「なぎさだより」を毎月 1 回配布した他、「家庭連絡ノート」による家庭と施設間の連絡や個別支援計画作成時における個別面談（年 2 回）の実施、日々の個別送迎時を通して、家庭との連携、連絡調整を図った。

Ⅷ 障害者相談支援センターわだつみ(相談支援事業)

I 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

静岡市の指定を受けて、利用者が、そのライフステージに応じた自立した日常生活、又は社会生活が営むことができるよう、利用者やその家族からの相談に応じ、サービス等利用計画の作成及びモニタリングを行い、地域の障害児（者）とその家族の福祉の向上に努めた。

今年度は、主任相談支援専門員を配置し、困難ケース等の支援に関する専門的助言をすることで支援の質の向上や職員の育成を図った。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者	1	0	(1)	1	事務局長兼務
相談支援専門員	5	0	(2)	5	市委託事業兼務 ※主任相談支援 専門員1人配置
計	6	0	(2)	6	

2 計画作成の状況（単位：件）

区 分		特定	障害児	合計
計画		149	89	238
継続		506	122	628
計画・継続		23	18	41
各 種 加 算	初回	10	4	14
	担当者会議	8	4	12
	モニタリング	385	98	483
	退院・退所	0	0	0
	居宅連携	情報提供	0	0
		訪問会議	0	0
	入院時情報連携	訪問	0	0
		その他	2	2
	保育・教育等移行	情報提供	1	1
		通院等同行	5	5
		訪問・会議	1	4
	集中支援	訪問	0	0
		会議開催	12	14
		会議参加	2	13
		情報提供(病院)	5	5

	情報提供	8	3	11
	地域生活拠点	1		1
	地域体制強化	0		0

Ⅱ 清水区障がい者相談支援センター運営業務（知的）（市委託）

令和7年度より静岡市の委託仕様書が変更、委託相談が「基幹相談支援センター」となった。障害者等相談支援事業、障害者児等療育相談支援事業、障害者虐待防止センター事業の他、業務内容に基幹相談支援センター機能強化事業が明記され、静岡市の相談支援機能の強化を図るため、地域の相談支援事業所（指定特定相談支援事業所）に対する専門的指導、助言、人材育成の取組や自治体と協働した協議会の運営等による地域づくりの取組を実施した。

また、自立支援協議会の相談支援部会、地域生活・移行部会の部会員として静岡市全体の課題解決に向け、関係者との連携及び支援の体制、地域資源の改善や連携に関する協議に加わった。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者	1	0	(1)	1	事務局長兼務
基幹相談支援 センター事業職員 (相談支援専門員・ 主任相談支援専門員)	2	0	(2)	2	指定特定相談支援・ 障害児計画相談支援事 業兼務
相談支援事業職員	1	0	0	1	
計	4	0	(3)	4	

2 相談支援事業

(1) 相談支援実績

区 分		実 績
開設日数		247 日
相談支援	実人数	703 人
	延件数	3,557 件
自立支援協議会 開催・参加状況	事務局会議	12 回開催
	区連絡調整会議	12 回開催
	市連絡調整会議	2 回参加
	市自立支援会議	2 回参加

ア 実績の詳細(相談支援実人数)

区 分	障害者	障害児	計
実人数	563 人	140 人	703 人
うち、重複障害のある 人数(重心は除く)	0 人	0 人	0 人

イ 障害種別内訳(単位：延人数)

障害別 区分	知的 障害	発達 障害	身体 障害	重症 心身障害	精神 障害	高次脳 機能障害	その他	計
障害者	497	0	14	0	52	0	0	563
障害児	106	0	7	0	27	0	0	140
計	603	0	21	0	79	0	0	703

ウ 支援方法内訳(単位：件)

障害 区分	訪問	来所 相談	同行	電話	メール	オンラ イン	個別支 援会議	関係 機関	郵便	代行	その他	計
身体	6	0	2	4	13	0	1	41	0	0	0	67
知的	148	100	124	689	102	0	76	1,937	37	0	0	3,213
精神	19	6	5	47	4	0	11	182	3	0	0	277
計	173	106	131	740	119	0	88	2,160	40	0	0	3,557

エ 年間相談延件数の支援内容別内訳(単位：件)

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,845	生活技術に関する支援	327
障害や病状に関する支援	95	就労に関する支援	194
健康・医療に関する支援	170	社会参加・余暇活動に関する支援	19
不安の解消・情緒の安定に関する支援	220	権利擁護に関する支援	133
保育・教育に関する支援	95	障害者虐待に関する支援	4
家族関係・人間関係に関する支援	77	社会資源等の情報を共有するための 支援	1
家計・経済に関する支援	376	その他委託者が必要と認める支援	1
		合 計	3,557

(2) 基幹相談支援センター事業の実施

(地域の相談支援事業者の人材育成や支援の質の向上のための取組の支援)

区 分	年間実績
支援者が困難を感じているケース等に関するスーパーバイズ	276 回
事業所訪問や業務への同行等による専門的助言	56 回

2 障害児等療育支援事業

(1) 訪問による療育指導

実施内容	実施回数	参加人数
面 談	4 回	4 人

(2) 外来による専門的な療育相談、指導

ア 療育相談

実施内容	実施回数	参加人数
面 談	10 回	10 人

イ 指導

実施内容	会 場	実施日	参加人数
自立支援プログラム 「スポーツを体験しよう」	静岡市しみず社会福祉事業団	12/7	5 人
療育相談会（利用者向け） 「学齢期から成人期の生活支援」 ～就職や福祉サービス等について～	静岡市しみず社会福祉事業団	11/29	4 人 (託児 1 名)

(3) 障害児の通う保育園や障害児通園事業等の職員の療育技術の指導

ア 巡回職員研修

会場	実施日	対象児	参加人数
放課後等デイサービス百花園大沢町ルーム	6/3	1 人	2 人
東海幼稚園	6/18	1 人	4 人
興津北こども園	7/16	1 人	4 人
蒲原東部こども園	7/29	1 人	8 人
放課後等デイサービス ぱれっと追分	8/5	1 人	1 人

清水やぐらこども園	8/5	1 人	7 人
放課後等デイサービスかぶとむしクラブ江尻東	8/26	1 人	3 人
清水聖母保育園	9/3	1 人	3 人
合 計		8 人	32 人

イ 講演会

実施内容	会 場	実施日	参加人数
療育講演会 (対象：放課後等デイサービス等) 「思春期の性教育～いつから何をどの ように～」	はーとぴあ清水	10/18	32 人

(4) 療育機関に対する支援

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
うみのこ保護者勉強会 8/26 (福祉サービス利用説明会)	静岡市しみず社会福祉事業団	1 回	22 人
うみのこセンター特別指導	静岡市しみず社会福祉事業団	12 回	24 人
放課後等デイサービス 連絡会への参加	はーとぴあ清水	12 回	

Ⅲ その他

1 見学、実習等の受入れ

内 訳	人数
学生（中学、高校、大学、専門学校）の見学、実習	5 人
一般の見学、実習等	0 人
合 計	5 人

2 ボランティアの受入れ 0 人